

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	17-1
PDCA	主要事業名	介護予防・生活支援サービス事業	部課名	福祉部高齢介護課	担当	藤塚	
					内線	375	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 2 単位施策： 高齢者福祉 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 218,820 千円 会計 介護保険事業特別会計 歳出科目： 03.01.01.02.50					予算見積書で活用	
	事業概要等	地域のさまざまな主体が「介護予防」と「生活支援」を推進する事業です。要支援者等 事業概要： を対象に、従来の介護サービス事業者に加え、NPOやボランティアなどが訪問型と通所 型の各種事業を行う。					
		事業目的： 地域にある多様な主体による介護予防の推進と生活支援体制を構築する。					
		事業内容： 要支援者等を対象に、多様な主体による訪問型及び通所型サービスの委託、給付、補助事業を行う。					
		問題点・課題 訪問型サービスB（生活支援型）について、利用しやすいように事業を再構築する必 題等： 要がある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	218,820 千円	市町村が地域のさまざまな主体と「介護予防」と「生活支援」を推進し、要支援者を中心とする高齢 者の生活を支えるための主要な事業であるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	地域の多様な主体による介護予防・生活支援サービスを選択できる。					
	56,571 千円	目標値や目指すべき状態					
国費	多様な主体による訪問型・通所型サービスが選択できる状態						
75,816 千円							
県費							
27,352 千円							
その他							
59,081 千円							
D 実績値と成果	決算額	得られた成果				主要施策の成果報告書で活用	
	218,585 千円	要支援者等の高齢者が、既存のサービスだけでなく、地域にある多様な主体による介護予防と生活 支援のサービスを選択することができた。					
		成果指標					
		多様な主体による訪問型・通所型サービスが選択できる状態					
C 課題の整理	事業の 評価・課題	B お助け隊などのボランティア団体も高齢化してきているため、令和4年度から社会福祉協議会との協 力により、傾聴やごみ出しなどちょっとした困りごとについて、研修を実施してボランティアを育成し、必 要な方につなげようとする仕組みとして「ちよいサポ」をスタートした。ボランティア登録者は少しずつ増 えているが、利用者にうまくつなげるのが今後の課題である。					
		拡充推進 「ちよいサポ」を拡充するとともに、引き続き地域にある多様な主体による介護予防を推進し、生活支 援体制を構築する。					
A 課題解決の方向性	今後の事業 の方向性						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余 地	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適 正化余地	—